

## 「かわさき市民祭り」で広報活動を実施



自衛隊神奈川地方協力本部川崎地区隊（川崎出張所長 宮城英明1等陸尉、溝の口募集案内所長 渡邊裕太1等陸尉）は、12月7日（土）、川崎区富士見公園一帯で行われた「第45回かわさき市民まつり」に参加し、会場に自衛隊ブースを設置して、装備品展示、迷彩服の試着、南極の氷の展示及び自衛隊グッズ抽選会などを行った。

迷彩服の試着では、普段見慣れない迷彩服を目の当たりにして興奮したり少し緊張したりと様々な反応を見せていた子供たちが、いざ迷彩服に袖を通すと自然と背筋がまっすぐに伸び凛々しくなったような様子で敬礼などのポーズを決め、装備品の1/2トトラックに乗り記念撮影を楽しんでいる姿が見られた。試着した来場者からは、「迷彩服を着て強くなった気がします。身にまとうだけで緊張感があります」「迷彩服がかっこいいので将来自衛官を目指したいです」との感想が聞かれた。また、「南極の氷」の展示では、海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が南極観測隊に協力していることなどを説明し、来場者は氷に触り、氷が溶けだすときのパチパチという独特の音を聞き、南極へ思いを馳せていた。

川崎地区隊は、「今後も部隊等と連携して積極的な広報活動を実施し、自衛隊への理解と関心を高めていけるよう取り組んでいく」としている。

